

パネルディスカッション4 「消化器内視鏡診療の innovation」

Innovation of endoscopic technology and procedures of Gi tract

司会 小澤壯治（東海大学医学部消化器外科）

小野裕之（静岡県立静岡がんセンター内視鏡科）

近年の消化器内視鏡の進歩は著しい。診断においてはAIを用いた拾い上げ診断や、質的診断が実現しつつあり、酸素飽和度イメージングや抗体を用いたがんの診断など新たなテクノロジーを利用した手法が花開きつつある。治療においてもESDからさらに全層切除や外科とのコラボレーションへと展開され、また、レーザーを用いた手技やロボティクス内視鏡といったSFの世界が現実化されようとしている。innovationという言葉がまさにふさわしい時代になった今、意欲的な演題を期待する。